



高倉だより



3月号

令和8年3月2日
京都市立高倉小学校
校長 稲葉 康晴

学校教育目標

よりよい生き方を求めて、誇りを持ち、未来にはばたく高倉の子
～豊かに学び、表現し、高め合う姿をめざして～

URL www.edu.city.kyoto.jp/hp/takakura-s/
Eメール takakura-s@edu.city.kyoto.jp

一年のしめくりを迎えて

3月を迎え、校庭の木々も日差しの温かさを少しずつ取り戻し、春の訪れを感じる季節となりました。子どもたちがそれぞれの学級で仲間とともに取り組んだ一年間の学びや生活を振り返るとともにまとめの時期を迎えています。この一年間を思い返すと、日々の授業、学校行事、地域との交流など、多くの場面で子どもたちの成長を実感することができました。

4月の始まりには、新しい学年や新しい学級に、不安と期待が入り混じった表情で登校していた子どもたちが、学習や友だちとのかわり、学校生活の経験を積み重ねる中で、少しずつ自信を深め、頼もしさを身につけていきました。朝のあいさつが以前よりもはっきりと聞こえるようになったこと、行事に向けて学級で意見を出し合い、互いの考えを認め合う姿が見られたこと、友だちの困りごとに寄り添う言葉が自然と生まれるようになったことなど、どの学年の子どもたちにも「確かな成長の跡」がありました。

学習面では、今年度もより一層、「自分で考える力」や「伝え合う力」を大切に、授業改善に取り組んでまいりました。GIGA 端末やデジタル教材を活用しながら、自分の考えを整理したり、比べたりする姿が定着しつつあります。また、友だちの意見に耳を傾け、自分の考えを広げたり深めたりする経験も大切にしてきました。こうした日々の積み重ねが、確かな学力や主体的な学びにつながったと感じています。

生活面でも、学校行事や日常の活動を通して、多くの子どもたちが自分の役割を見つけ、責任をもって行動する姿を見せてくれました。運動会や縦割り活動などでは、学年を越えて励まし合う温かい空気が学校全体に広がりました。また、委員会活動や係活動では、学校や学級をよりよくするために、自ら考えて、動き出そうとする子どもの姿が増えています。こうした一つ一つの経験は、子どもたちが次の学年へ進む大きな力になっていると感じています。

いよいよ、子どもたちは次の学年へ進級します。この一年で身につけた力を土台に、さらに大きく成長できるよう、3月は「学びを振り返り、次の一歩を考える」大切な期間です。子どもたちには、自分のよかったところ、がんばったところ、できるようになったことに自信をもってほしいと思います。同時に、新しい学年に向けて「こんな自分になりたい」「これに挑戦したい」という新たな目標を持ち、前向きな気持ちで残り1か月を過ごしてくれることを願っています。

今年度も、保護者の皆さま、地域の皆さまには、温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。日々の登下校の見守り、行事や学習活動へのご支援、スマイル21プラン委員会をはじめとする地域の関係団体の皆さまのご助言、ご協力など、本校の教育活動は、多くの方々の方に支えられて成り立っています。皆さまのお力添えがあったからこそ、子どもたちは安心して学校生活を送り、学びと成長を積み重ねることができました。

子どもたちが安心して、そして誇りをもって通うことのできる学校をつくるため、教職員一同、これからも努力を続けてまいります。引き続き、温かいご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

年度のまとめの月、そして新しい春へ踏み出す準備の月である3月。子どもたち一人ひとりが、心を整え、希望いっぱいの新学年を迎えられますように。

校長 稲葉 康晴

令和7年度3月 学校行事予定表

日 曜	学校行事	保健/ 安全的行事	PTA・その他
1 日			
2 月	6年参観・懇談 4年生け花体験 6年保護者参加イベント		
3 火	1～5年参観5H・小中一貫教育説明会・懇談会 ランチルーム給食1-2 銀行振替日		
4 水		フッ化物洗口	高倉会・スマイル理事会・ 推進委員会
5 木	GGTありがどうの会		
6 金	おはようおはなし会3・4年 ランチルーム給食1-3		キッズパーク 図書室と歩む会本の修理
7 土			
8 日			
9 月	クラブ活動④ 卒業式練習 支部育成卒業を祝う会(御所南) 放課後まなび閉講式		
10 火	6年生を送る会 卒業式練習 6年高倉登下校		
11 水	子ども安全会議・町別集会 部活動閉講式 9年生を送る会 6年感謝の会	フッ化物洗口	
12 木	6年卒業遠足 6年高倉登下校		図書室と歩む会本の修理
13 金	京都御池中学校卒業式		
14 土			
15 日			
16 月	健康・安全の日 スマイル体力向上の取組6年 卒業式会場準備 体育館使用不可 卒業式練習 6年高倉登下校		
17 火	卒業式練習 6年高倉登下校		
18 水	卒業式リハーサル①	フッ化物洗口(6年なし)	
19 木	卒業式リハーサル② 卒業式前日準備 給食終了 完全下校 6年高倉登下校 5年生け花体験		
20 金	春分の日		
21 土			
22 日			
23 月	卒業証書授与式		
24 火	修了式・大掃除		
25 水			
26 木			
27 金			
28 土	立誠桜まつり		
29 日	立誠桜まつり		
30 月	離任式		
31 火			

<令和8年4月の主な行事予定>

- 10日(金) 着任式・始業式・入学式
- 15日(水) 給食開始
- 17日(金) 6年参観・懇談会・教育課程説明会
- 20日(月) 子ども安全会議・町別集会・第1回地域委員会
- 21日(火) 1～5年参観・懇談会・教育課程説明会・5年花背山の家説明会
- 23日(木) 全国学力・学習状況調査
- 27日(月)～5月1日(金) 個人懇談会

※6年生の修学旅行は2学期に実施しますので、4月に説明会は実施しません。
※5年生の花背山の家宿泊学習は5月13日(水)～15日(金)に実施します。
4月21日(火)に説明会を実施します。
※令和8年度の予定は現時点での予定です。変更の可能性もありますので、ご了承ください。

第31回 卒業証書授与式 3月23日(月) 10:00～

3月23日(月)、午前10時から、第31回卒業証書授与式を行います。114名の6年生が、6年間の思い出とともに、高倉小学校を巣立っていきます。在校生(1～5年生)については、家庭学習となりますので、登校しません。

教職員離任式のお知らせ

日時 3月30日(月) 午前9時より
児童の登校は午前8時30分～8時45分頃でお願いします。
※後日配付する別紙プリントで詳細をご確認ください。

子どもたちの笑顔のためにできることから始めませんか?



ハッピータイム

2月16日(月)に、今年度最後のハッピータイムを行いました。今回の活動でも、6年生がリーダーとなり、みんなが楽しめる遊びを考えて運営してくれました。どの活動も工夫がいっぱいで、笑顔のあふれる時間となりました。

活動の終わりには、1~5年生から6年生へ「今までありがとう」の気持ちを込めて、お礼の言葉が伝えられました。優しく、しっかりと下級生をまとめてくれた6年生の姿は、とても頼もしく、みんなの心に残るものとなりました。

(児童会担当 高橋 真歩)

5年 助産師さんの授業

2月12日(木)に、助産師の柳川さんから命のお話を聞きました。命がどのように誕生するのか、赤ちゃんがどのように生まれてくるのかを話してくださいました。実際に、受精卵の大きさを体感し、その小ささに子どもたちはとても驚いた様子でした。また、お母さんのお腹の中で育つ赤ちゃんの大きさ、重さも体験させていただきました。だんだん大きく、重くなっていく赤ちゃんのを知る事ができました。いただいた命を大切に、これからも過ごしてほしいと思います。



(5年担任 鈴木 縁)

半日入学・入学説明会

2月19日(木)に令和8年度新入学生半日入学・入学説明会を行いました。保護者の方々には入学にあたっての説明や連絡等をさせていただきました。子どもたちは、自由遊びの時間にオープンスペースでブロックや折り紙、絵本などを楽しんでいました。そのあと、教室で手遊び歌やお絵描きを体験しました。



4月に元気に入学してくれるのを楽しみにしています。

(教務主任 阪口 涼子)

6年 薬物乱用防止教室

2月2日(月)、3日(火)に本校学校薬剤師の小林様にお越しいただき、薬物乱用防止教室を開催いたしました。違法薬物の危険性や正しい知識を専門的な視点から教えていただきました。

また、近年、10代から20代で増加している市販薬のオーバードーズについてもお話していただきました。身近に手に入る市販薬の過剰摂取による悪影響だけでなく、用法・容量を守り、正しく使用することの効果についても学ぶことができました。自分の身は自分で守る大切さについて考える機会となりました。

(6年担任 宮原 圭史)

5年 音楽鑑賞教室

2月4日(水)、5年生は京都コンサートホールで「小学生のための音楽鑑賞教室」に参加しました。子どもたちは、京都市交響楽団の方々による本格的なオーケストラやパイプオルガンによる荘厳な演奏に聴き入り、楽器の紹介にも興味津々でした。ご協力いただきました公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団様、京都府へご寄付いただきました株式会社ゼロホールディングス様、ありがとうございました。

(5年担任 鈴木 縁)

図画工作展・書写展

図画工作展では、作者がどんなことを思って制作したのかを考え、想像し、鑑賞を楽しみました。対話の中で、ひとつの作品から、いろいろな物語が生まれ、作品との出会い、友達の考えとの出会いを楽しむことができました。

書写展では、様々な学年の作品を鑑賞することを通して、他学年の学習にふれたり、次年度への見通しをもったりすることができました。

(図工主任 青木 久里・書写主任 原 ひなの)

5年 校舎体験

2月3日(火)・4日(水)に京都御池創生館に行き、校舎体験を行いました。御池校舎では、6年生が出迎えてくれ、校舎についての説明をしてくれたり、一緒に遊んだりしてくれました。御池校舎では、中学校の先生の授業を受けました。小学校とは違う授業に子どもたちも興味津々でした。新しい校舎で、新しい先生との出会いに、子どもたちもわくわくした様子で2日間過ごしていました。6年生になることが待ち遠しくなりました。残り少ない高倉校舎での生活も頑張りたいと思います。



(5年担任 鈴木 縁)

6年 おはなしの森

2月18日(水)・19日(木)に、「おはなしの森」が行われました。「京都おはなしを語る会」の方々にお越しいただき、学級ごとに『うちのなかのうし』と『水門で』という2つのお話を聞かせていただきました。本を見ずにお話しされる姿や、強弱をつけて表現される語りに、子どもたちは最後まで集中してお話の世界に入っていました。読み聞かせとは違い、登場人物や場面などを想像しながら楽しんで聞く様子が見られました。

京都おはなしを語る会の皆さま、貴重な機会をありがとうございました。

(図書館主任 川瀬 優希)

研究発表会

2月6日(金)に研究発表会を開催しました。今回は、1年生の体育科、3年生の社会科、5年生の国語科の授業を見ていただきました。全体会では、京都大学大学院教育学研究科の西岡加名恵先生、松下佳代先生、奥村好美先生をお招きしてシンポジウムを行いました。全国からお集まりいただいた方々と本校教職員とが一緒に学びを深めさせていただきました。大変有意義で貴重な時間となりました。京都大学大学院の先生方、ご参会いただいた皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

(研究主任 田中 清明)

6年 租税教室

2月3日(火)に租税教室がありました。税理士の方々をお招きし、「税金」についての学習を行いました。税金にはどんな種類があるのか、何種類ぐらいあるのか、仕組みはどうなっているのかなどを知ることができました。また、所得が異なる市民ごとに税金の徴収額をどう決めるかをグループごとにシミュレーションする活動も行いました。租税教室で学習したことを生かし、将来に役立ててほしいと思います。

(6年担任 橋本 滉生)

こじか 科学センター学習

2月17日(火)に青少年科学センターへ育成学級合同学習に行きました。プラネタリウムでは、季節の星座についてのお話を聞きました。クイズもあり、楽しく学ぶことができました。4年生以上はサーモインクを使った実験学習も行いました。温めると色が変わる様子にとっても驚いていました。たくさんの方々の学校のお友達と楽しい時間を過ごすことができました。

(こじか担任 家村 菜月)



6年 演劇鑑賞

1月30日(金)に、ロームシアター京都で「京都市小学生演劇鑑賞教室」が実施されました。今年度は、劇団四季による『王子と少年』というミュージカルを鑑賞しました。

『王子と少年』は、見た目がそっくりな王子エドワードと貧しい家の子トムが入れ替わったことで、様々な騒動が巻き起こる物語でした。

ハラハラドキドキなストーリー展開と素敵な歌と踊りを楽しむことができ、大変貴重な機会となりました。

(6年担任 宮原 圭史)

6年 町家見学

1月26日(月)、28日(水)に家庭科「冬を明るく暖かく」の学習で、町家見学に行きました。夏にも見学させていただいた小島様のお宅に伺い、冬を暖かく快適に過ごすためにどんな工夫をして暮らしておられるのかを見たり聞いたりして学習しました。葺戸が障子に変わっていたり、火鉢が置いてあったりといった夏との違いをたくさん発見していました。

小島様、見学させていただき、ありがとうございました。

(6年担任 金津 佳子)

こじか 小さな巨匠展

2月5日(木)~8日(日)まで京都美術館別館にて小さな巨匠展が開催されました。こじか学級もバスに乗り、みんなで鑑賞にいきました。子どもたちは、大きな美術館に自分たちの作品が飾られていてとても喜んでいました。他の学校の素敵な作品にもたくさん出会え、充実した時間を過ごすことができました。

(こじか担任 家村 菜月)



給食週間

2月9日(月)~2月13日(金)は、給食週間でした。全学年で、給食調理員さんへの感謝を伝えるお手紙を書いたり、食生活委員会が作った、「野菜を食べよう」、「感謝して食べよう」というテーマの動画を視聴したりしました。

食の大切さを改めて考えたり、給食ができるまでにたくさんの人が関わり、手間がかかっていることを知り、感謝の気持ちを持ったりすることができました。

(給食主任 板谷越 克己)